

繪圖 御山

日亮山名號誌

全

213

二

全

渥義景通

序

此山を之地の神を

山川を御と侍一休也

雪室に神明の扶護

三多所おる海と東國第一

の亭場は新屋了故小



幸ふらば心より次除は憚らば
二世は勝縁と結んた先承り
訪ふ人日た盛んが利
終ふに雲區不ふあふ初
来ふ心未ふくもおし痛
事し致悲ひふ其道志ふ

勢人事紙思ひし海も
年を怪る集々一冊と
決ふり地

貫首大主は言辯と養り
か紙まゝ執事のはやゆり
昔は事し許しはす

ありは久し... 志もふ... 城... の也

享保十三戊申二月 鷹橋我武城之



○日光山名跡誌

日光山名跡誌
 柳下野国都賀郡日光山人王十代孫德天皇
 乃御宇神護景雲元年勝道上人法開基の里
 上人の洞小芳架の室乃尺端はく法蓮法友ハ
 垂仁帝第九乃皇子卷向法号十有余代の孫若田
 氏高の着庵... 皇母の正二位大后吉田清原
 乃其女なり父母嘗て子於て事と親と... 洞洞
 出流山千手大士小... 七日に満

夜八葉乃蓮華の如く花の如く
爰に花の如く
懐妊し上人を生ずる則ち夢乃若くは
雅志を履来尤も号する如く上人幼立其
て佛教を志す如く彼とある見土を
建立の如く上人如く
教音にありて種々勤行の如く
此告ありて日光の如く
立給ひ

廿七歳乃出河内
本宮四年
自余乃具法
慈覺大師
星霜八百余載
同
東照大権現
乃所鎮座あり

婦メ一ヒト之ノ神カミ威カミ海ウミ内ウチ小コ經ネ一ヒト終ハシ人ヒトも編ヒキ小コ号ナメ之ノ絶ツク
 倫リン不フ之ノ小コのノなりナリのノてテ糸イト緒ヲ乃ハ其ソノ緇シ書シ群ヲとトみミとト
 いイとトもモ可キ之ノ堂ドウ社シャ旧キウ経キョウ本ホン其ソノ便ベン便ベンとト尋ズル得ル便ベン且ツ
 糸イト緒ヲのノ志シ一ヒト切キりリてテ糸イト乃ハ半ハ寸ツ者モノもモあアん
 形カタル也ナリをヲ一ヒト冊ハクとト形カタルとト容ヨク易ク矣ナリ必カナラとト殊ヘ一ヒト糸イトく
 遠トホ近チカ乃ハ後ノチ記キとト形カタル乃ハ一ヒトとトかカくク一ヒト書シ一ヒト
 綴ツグりリてテ足タラ源ノチ結ツとト号ナメ之ノ也ナリ

日光山名跡誌

○ 神社佛閣 ○ 坊舎并人里
 ○ 名所舊跡 ○ 日光寺内には道法
 △ 日光山入道筋 今市あり日光と三雲の石並杖
 人里沢あり此本戸はと入々 ○ 松原町 長子とあり
 ○ 石倉町 長子町改東側小 ○ 瑞雲山龍藏寺と
 以香あり寺内小三十三観音と安堂は仲光の遺蹟
 大脚一刀三祀乃作佛し並糸財天堂真心の所作

なる里此寺下野坂東三十二番乃礼取とせぬなり○河
 幸町三丁 东例中祀小稲荷町(の横たわりの田)も
 之町中祀小稲荷乃久乃久乃石列家神本地虚空蔵并
 此町稲荷の文もありとて河幸町なり○鉢石面
 此町上中下三の小別もなり下鉢石町東例小横町
 あり八し女町といふ是なり稲荷町(なる河幸町)酒
 河坂屋敷あり下鉢石中祀小室珠院宝蔵坊之小
 寺ありと月六親善堂あり運慶乃下野坂東の

礼取なり町向ふ見ゆる鉢石山観音寺と云寺也
 与月山上小千手親善堂一字弘法大師乃法住あり
 上鉢石町南不塗物梳打曲物木河と云ふ店あり
 右入口板取町なり南町出立中を凡町長十三町旅あり
 △下馬 此所乃乃方在唐木と云里森の四
 △星宮 殊殿あり本寺八天童子秋虚空蔵堂
 なる洞文乃洞と云ふ南河上北出立入碑の若勤乃
 入堂あり星の宿と云ふ毎年松月廿六日行若下長

渡さば橋の東に御神事法楽法式あり
常々法橋の東に御橋ありて法橋に

○御橋 標于あり法橋乃人馬あきと渡り大谷川と云

川上平禪寺湖水の流なり橋あり御番あり回糸

大乃もの取東山佛宗谷橋舎の乃藤之坂下は

○碑あり是は 御神領橋あり南西と祈と海乃

並松平藤門大交湯寄進乃碑あり同前の宗

見ゆる本宮乃社しと云なり 神橋向ハ

○深砂大王乃宮 鳥居乃額ハ 大明院一品准后法親王

の震筆あり本地毘沙門天神橋と纏の天神し

△東照宮ハの乃藤神橋乃丸なり 巻る坂と長坂

といふを丁半程あり回糸乃宗正月十七日九月十七日

御祭後乃法藤前あり長木少く三品立の御膳は

儀ハ俗人舞樂を奏しと海くの御祝式あり

○長坂乃の中と有り 寺地不あり内津土院と云

寺内ハ安達氏藤九郎盛長の石塔あり(町表)

御本坊



永観坊
浄土院



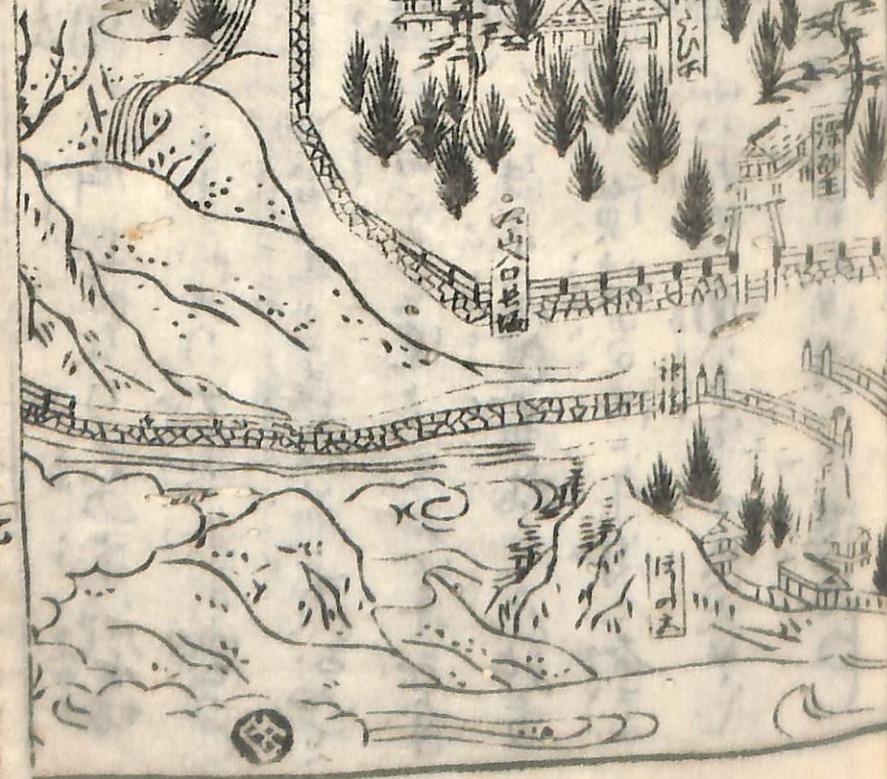
光光坊



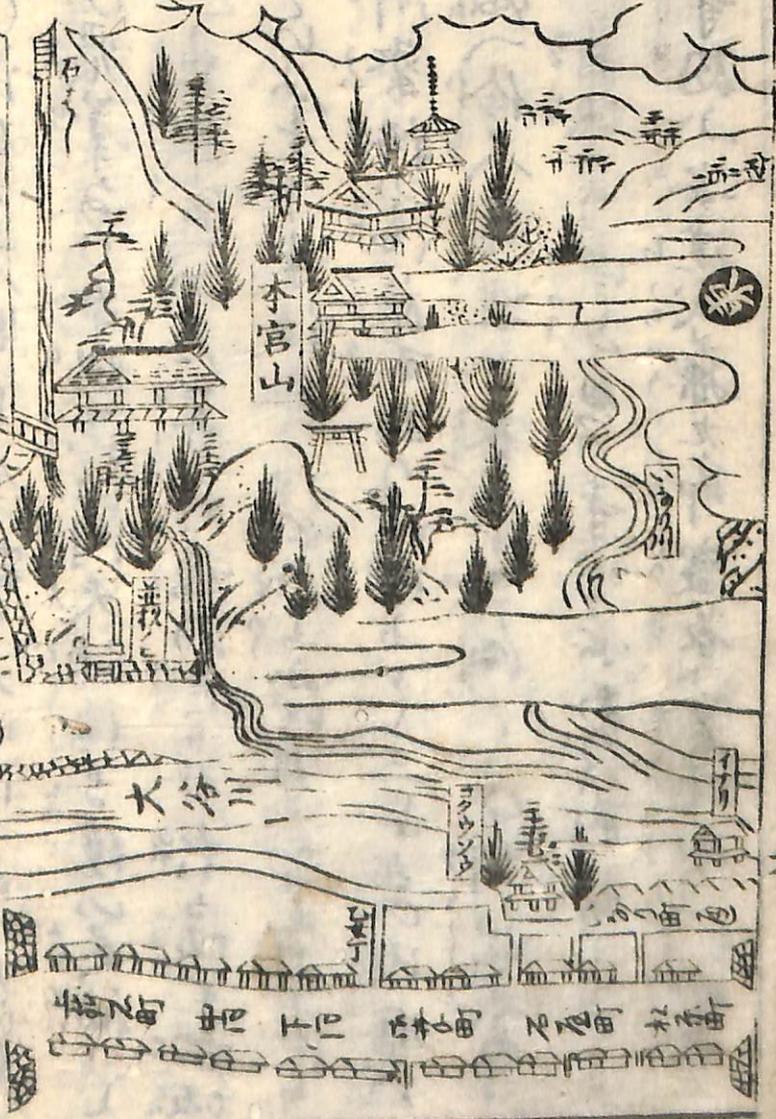
坊中
坊尔
坊采
坊秀

妻居所
収貯坊
准公院

廣吉敷

南照院
妙令坊
妙月坊



本宮山

大池

ヨクウシヤ

横河 堀下 石橋 石橋 石橋

通りたの方所圍ハ 御敷地なりたの方所寄坊
輪王寺の堂より多るとれり石屋本を也との

○也乃鳥居 是ハ黒田城前も長政の所にかた

鉦石と刺聖南海敷百里と運く元和五年卯月

御寄進し 御願ハ 後水尾院震動した北方

五重乃塔 是ハ酒井 横波も御寄進し本寺

東の茶所 西ハ法院 六杖廻 南ハ多宝中央大目し

○御被敷 是ハ 御宮場 遺留ハ法時 下遷宮也

ちも本堂り法本あり二六時の鐘と撞りあり

雲月十香公の庵とあり 舟乗御湯とあり 則

倉廻乃釜三あり

○仁王御門前 此御門前石屋本あり石礎兩基ハ

美狭國司酒井横波も深大勝胡長所納河本也

○御番所あり 此御所ハ 此御所ハ 此御所ハ

て備と左右石垣の月小壁横三間御所あり

此御所九河所見石の入りまの好とス下

佐賀乃 珠玉 燭嶋 信濃 当把 前乃 石河 室以 七

沙 昔 納之 素 緒の 男 女 手 洗 じ 如 佛 亦 之 乃 乃

○ 唐 洞 御 華 表 同 乃 乃 乃 一 切 煙 堂 傳 大 主 法 像

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

○ 鐘 樓 鼓 樓 同 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

迴 金 燭 臺 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

も 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

○仁王御門 仁王の御門 左右河畔仁王長一丈式尺余裏のあり

唐獅子形此御門を入りたるに金建の龍の燈籠

ありおもひ緒大なるあり此御門のあり

○御藏云々此御門の御蔵ありたれ方○楨一株

○御廐 素車造り此御馬三匹あり常ふ下

殿に立 御祭礼の時此御殿あり○御番所

○御手水屋 此御手水屋ありの御手水柱に建り

天井の形物に海不龍あり此御手水柱に建り

佐賀の味主燭嶋信濃当肥前入り石河原にひて

此御門の素車造りの御馬三匹あり此御門のあり

○唐洞御華表 此御門の御門あり一切経堂傳大土像

あり此御門の御門あり此御門の御門あり

○鐘樓鼓掛 同左乃方以御舞あり獻上乃

迴 金燭臺あり并河蘭池あり献堂の御金燭臺

もあり同左乃方小御舞あり献堂の御金燭臺あり

此御門の御門あり此御門の御門あり

此御門の御門あり此御門の御門あり

流疎りの上三十六釘乃焼基ありけき以徳念

御奉納の焼焼基多あり河内西の方

○御奉也堂 御中書、茶味、茶味、三所風也

修徳系所を換一 二菩薩十二神を安置

此所堂大伽藍にしてお徳也のあり柱金襴卷

長押乃此改ふありもぐりもる金根と漆也

あり板室殿の天井小長八間又端の方龍乃

給わの指置永真安信等あり

△陽明御門

世武主の御門と云ふ所門の内へ

此御門板を改くも

棟雲の陽明門と換く

建り表の六隨身あり信小矢大長と云ふも

持彩色し敷をせりるハ一く正の人此あり

ある鄙人物を叫びり事しりも了りて終り

守り不審しりも理りし裏ハ風神雷林

を去り御門の御額ハ 後陽成院ありおさ勢

初ひこの表額し信小勅額門と云ふ勢ト

名跡

十

此神門乃係梅舌端不及びく筆鋒にもあらず
 一彫物めくく、いざ、思ふに琴棋書画周云且
 欽揚費長房盧敖琴高阮籍嵇康豊子王子猷
 孔子顔回と下れ、三笑は友六伯九哲に
 至るまで悉く記す小巻もなれば、
 龍鱗鱗獅子猿のまも南丹の指ふ刻めり
 めるひいとのまふあらず、
 我空乃禽獸ハ

不及びたるも物彩色し居くに誠金凡
 以て知れり、
 目下は、
 将堂探出守信厚し、
 里方、
 樂天、
 年をわらうく、
 浦、

おのりくおはらうふ

○神輿堂 くれい二季の 御祭礼の時

おのりくしはらうふに

○神樂堂 毎日乞女お供し神楽奉仕はらうふ

○寶摩堂 奉安五天尊 奉安十二天を安んずる

おのりく正五九月土日より十七日までを天下安んずる

おのりく神樂奉仕を奉仕はらうふ

○御唐門 素高造り 御唐門より龍あり 御唐門

乃彫物ありおのりく 乃彫物あり 乃彫物あり

七賢七福神あり 乃彫物あり 乃彫物あり

乃彫物あり 乃彫物あり 乃彫物あり

○御瑞籬 此御物千草万草此花也

好むてもあつたの色もいふはるまじき御物

○御祥殿 鯨口三雨ふりし御祥殿乃内左大臣

是より孫一重多し御祥殿乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

香樹を葉のく道りあまを偶其室不入の

深さるゝおのほのうき一く御着座乃

一とと白ひぬ日除く御着座乃

羽毛乃類金玉を丸く眼乃内不入の御着座乃

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御着座乃同あり御着座乃内左大臣

御本社

御當御社人王百有餘代

後陽成院

後水尾院御洗乃御定に奉て天下法

氏將小傳

也如以て吐捨乃骨を躬行て世に

乃御八島御外高藤唐共を奉て世に

御あまの御孫を奉て世に奉て世に

久安一て元和二年に月十七日御壽筭七十三歳

御一之御他界あり奉て世に奉て世に

御美細の川山王神道と云く奉て世に

御時

勅使下向

東照宮大権現と尊号と贈て世に御代

天下と掌乃御ふささかたの尾の御

鶴乃警發重の御水にて泰平正千万

御一之御一給て人新を奉て世に

大なるに御ものなり奉て御奉必の御所

光也奉乃應作相殿の御多羅神山王大権現

御一之 東照三社と云く奉て世に御奉必の御所

御時

御代

九月十七日御神事あり四月十六日に例幣使
 と下し給ひて真命が指しむ武江あり 御石代
 として高家元一人は奉勅回 御祭禮を
 して大なる二人奉勅則 御祭禮を
 當社の御祝式嚴禁あり奉りいかりく等子言ひ
 傳くとして正五九月に御座る宮様法
 あり一山に僧流社殿の御人給仕あり
 天下安平乃涉行里安重

○真乃院 御本社の後山あり 御室
 洞の系御棟敷御室藏あり
 系清なる 御室より下向して仁王門あり
 たのき 御別所大樂院
 東照宮法別南寺なり毎日あり
 梅のりり御仁王門あり西より道あり
 権印の馬場あり是より三佛堂あり
 る物志のういふ

△相輪標 佛の傳教大師六十四句乃法教文と
 紀し之巖山と娘の日本六所不達也と
 是亦十余州の法行あり切法也其の法は
 善眼大師尚山不達也とてしけり
 人倫の不及を以て獸草木の類ひを佛果
 得とす佛を在教一見法縁の輩に在
 無量乃罪を減し未素の永く三惡道に
 離れんや以て疑ありや其に甚深微妙法

有あり興くりりく記す
 △新宮の鳥居 御額 正一位勳一等日光大権現
 とあり一品宮公寛親王沙卷御あり
 △三佛堂 南山一乃大伽藍一廿五弘院長
 九尺五寸千手馬馳のく八尺寸慈覺大師の
 内乾の淵小勝道上人乃法教あり其の淵に
 軍荼利明王の像あり此堂の謂永きれを

略く、ち色つり一丁、長十午里

○常行堂 本堂ハ宝冠乃海陀山、長慶寺、後小

摩多羅神立、即ハ此堂ニ植、根系、皆、他、堂、ノ

と、く、依、小、形、の、堂、と、い、ふ、凡、此、堂、ハ、人、王、五、十、九、代

宇、多、天、皇、乃、御、宇、覺、来、五、癸、己、年、弟、削、み、り

あ、く、指、を、折、小、八、百、五、十、有、余、奉、ニ、及、び、至、也、く、

○法華堂 本、堂、普、賢、覺、菩、薩、鬼、子、母、神、十、羅、刹

三、十、番、神、傳、教、大、師、乃、ハ、經、あり、此、堂、此、何、也、

人王五十三代、淳和天皇、此、堂、乃、天、長、二、己、年、建

立、多、り、此、堂、ハ、傳、教、大、師、法、華、堂、の、法、華、經、一、部

納、せ、あり、と、い、ふ、此、堂、の、石、乃、あり、是、と、二、所、は、と、也、

△慈眼大師堂 天、海、沙、湖、あり、覺、來、二、癸、未、年

十、月、二、日、此、入、寂、あり、勝、道、と、人、乃、名、高、山、五、十、一、代

の、此、堂、主、乃、く、中、興、の、所、開、山、乃、凡

東、照、宮、南、乃、鎮、座、あり、乃、万、代、不、易、の、基、と

新、く、此、の、を、新、く、大、師、の、此、堂、あり、く、海、乃、と

跡、

此の山あり今の兩大陣の法一神あり法極殿
 乃其の山あり法極殿并御三法家法大なるなりは
 上りて五燈臺あり回廊ありのたより○龜井
 乃水一編前の中あり○石佛乃之堂あり回廊あり
 小高の山 御座主御所あり
 本照院宮 久遠書院准三后 解脱院宮 大明院宮
 此の山あり回廊あり○文殊堂大陣乃其の山あり
 求圓持堂并小鐘梯經藏法供所ありこれより

三丁ほどあり○御別為無量院の寺あり
 大猷院様御霊屋 慶安四年四月廿日 御地界
 高の山あり法極殿あり先惣門小仁王あり此は二天
 門あり 後中尾院御座主あり此は二夜叉門
 此の山あり法極殿あり御三法家法大なるなりは
 此堂乃其美なり 東照宮より此の
 彩色あり七宝と描あり 御極乃其の
 此の山あり法極殿あり御三法家法大なるなりは

名跡

一七

神鮮より秋さる入全地蔵あり此洲堂へ入来詣
 と申さるれど毎年正月廿日四月廿日 御名代
 として大石元系勤なり其小治之安老津方
 うる代孫あり同家小のこ
 ○所別不龍光院 毎朝所膳と傳ふ
 △新宮大権現 八棟造ありあり拜殿あり
 日光山大権現と稱卜せり新迹ハ大已貴尊平比
 手親善なり社比と云 仁明天皇此嘉祥年中

慈覺大師出建立なり凡國中の大社あるが
 東極にも及くより此権現乃所利益五穀滋福
 法園流乃御神あり方氏奉之傳ふさる
 ざらなり 此神室ニ 移り切丸太の屋臺太口
 拍太刀のみまも五尺余あり其銀あり赤小山判官
 是の奥列奉衡進伐乃初掲ききしと云あり

手不沙宝物... 申は之勝道上人... 不徒書... 毎来三月二日... 云社乃神雲... 其日より... とくしく... 神雲と... 神興ハ...

中三佛堂... 乃虎邊中... 慈覚堂... 新文沙列... 常沙堂... 新宮末社... 阿弥陀堂...

○十八王子... ○昆波門... ○山王社... ○三尊石...

○大黒天堂 聖堂なり ○十五堂 ○地蔵石

うしむ向のよみゆのハ能光院寺に於て是なり

た乃方滝乃尾乃よ入 新なる滝尾を十二下

余あり小坂とありの中ほどに

○薬師堂 此のあり其水出るとんど海と目と

洗へむ後醫 立ふ時 是はゆめて因洗茶師と云

○行者堂 坂乃とありふあり本堂彼行者し

ふ小 道公寮并ふ ○御番ふあり坂乃其

○お橋あり 是と御 遠橋と云 くれあり 大赤使林ふ其の

所ありとせきあり一丁ほどなり

△山王社 向拝造りあり ありと居あり此社ハ

と御 奉申 慈母大師山道管聖真子大権現也

所 聖白村山王と仰ぐ七社乃内あり

○不動堂 本堂二童子も也 運送乃作しし向ハ

滝尾とあり流し石居 ありありと申す ○三益

赤倉大明神乃石社ありたのあり ○坂中不動石佛

あり○熊野杖とて著は養八味あり飯上ハ
 御別系い所はく日光責とて食物を
 者あきそ其食物とて強毒とてしつるひふ
 搦持をとの黄之具あり強毒のひふ
 大なるおたふもあつたて別ありいりあり
 及るは海神所方はくもいふあり地あり集
 里くは作せ来とて人い勿論は形くても
 御宮 御霊屋 涉代系此大なる大せの

東邊ハ地走のふ飯と強毒半左例し
 日光の如く糖子婚祀新宅木の強毒半左
 如くは日光毒とて強毒半左あり半左
 て人姑あ其甚行禱と強毒半左あり
 氏家の地系素類とて強毒半左あり
 西の世別所形り強毒半左あり
 ○正観音堂 奉る長片余年三番神例あり
 ○採燈護摩所 奉る石佛の不動尊あり

入峯乃備荒物なりける儀上ノ如く又遠ある

事し乃是の別ありともらんあるなり

○石乃多居 比志の方の撞撞ありき少く撞撞あり

○撞門 孝仁仁王裏の風雷乃二天と建の都弘法

大師の湯筆はく女鉢中宮とあり高門と云ふ御拜奉

○御本社 向拜造り滝尾大権現八面心非命

乃宝迹はく本如阿弥陀如身あり此法社人王立代

造天皇帝乃湯射ふく造造あり凡此の如く

形も真徳の湯社と云ふなりと云里物湯神宝あり

弘法大師の筆写る衣鈕左鈕の不動菩薩石

摺乃名号秘号の仁王との本ありと云ふと云面

らんが凡と云面と云い天の湯と云ふと云火出る玉

水出る玉は宝物なりと云あり此社ありの方小

○千手堂 宝形造り中号長六尺余弘法大師の御作

○御本世堂 奉書河津池親善坊美の言も懸掛

の御作あり凡日本三牌の本号ありと云同前法小

○根本社 小社しおきなり西のくさのたぬい

○子種石 数よおきあり子種と人いふよ新付

○あゝ利生ゆるといふとをさうり

○泉の所涌池 池は注と入海とありむりしり

酒涌出るといふと今まおと酒の香あり 吳水

あるじ中よある石社、辨方矢形り

○三本杖 本社の後ふあり三社の神農くき書言本

○二十番神堂 鉄塔 是は六十の部納経乃

○版盛杖 此杖

古事記杖あり外の杖とらぐひと身とせり

○杉那門 ともあり井あり又たのあり

○御神馬碑 是は御籠の馬馬なり慶長庚子の

年濃列園東所陣の所も此馬は名は孫孫利

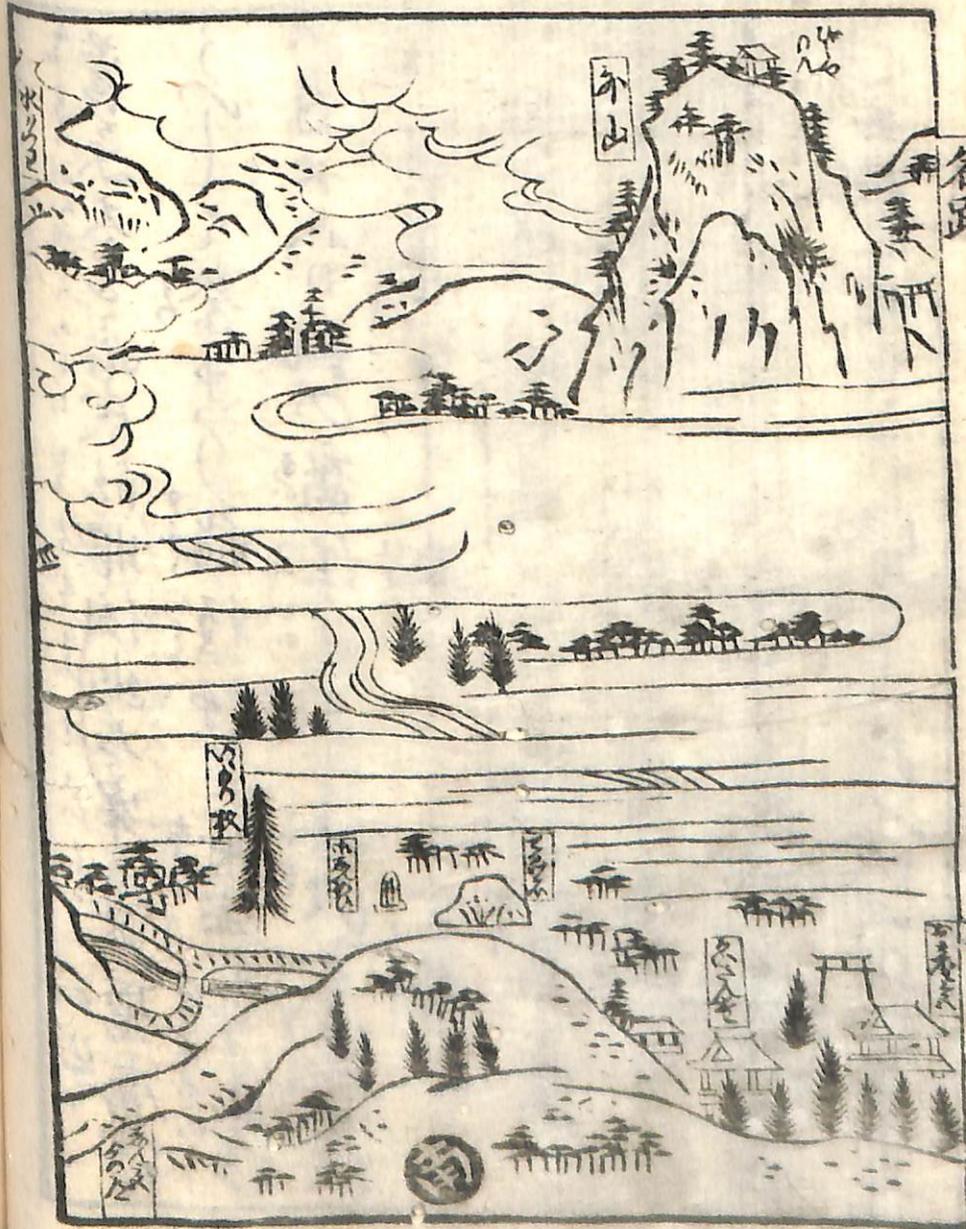
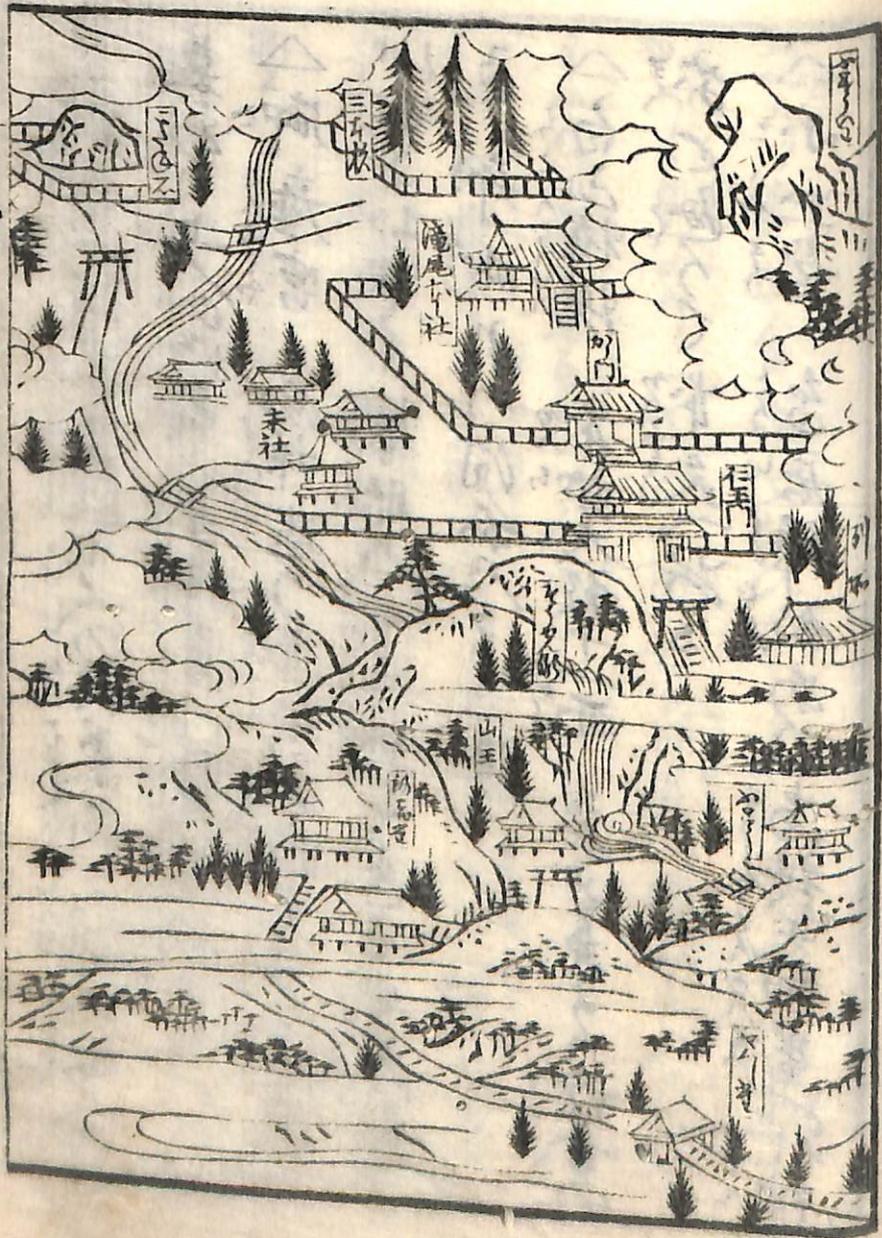
ありし碑の徳い星霜ありて是て

○子掛石 け石はむり粒現の所と

とてぬたの方の稻荷川と白く

△和山 とやま いふ小昆沙門天立世孫小島との忍門に
 ありのくお護れた光身と云云月三日の御日小
 く多清御集とのののこに ○水急とてとて
 舟も氷とて又凍との家 ○不動ありあり
 程のぬく令 ○七滝あり氷とてくつりのせ
 七石とて為るなりいふ西へ人帯にゆえ
 ◎天神社 尾尾の下向る所のこのお岩あり
 石の中へくくれば寛文元年二月廿五日

菅系文高氏法眼伝幽々宰府乃聖廟
 うへて系事うう稍経て延宝七下末
 六月廿五日彼の齋伝秋石の社とて造堂
 神威築いふ一斎一 △十王堂
 △地藏堂 室形造りなりいふと伝説といふ
 本堂の座像ありて蓮臺の作なり并傍道への
 小形は十才なる蓮の法形ありて人の地蔵座
 乃并延宝七とていふとて路あり故小園山堂も



のあり ○河原裏に上人の所墓所は守子ある

墓あり上人の所墓の中禪寺上野橋小御寺

△御産宮 向拜造り尚社本世普賢菩薩

し西よおわく 懐胎乃女立形と述正安産あり

子奇妙形河原乃らるる

△白山権現 本如大形十一面 えてさきより坊舎の

まどとぬりて本交へつる

△小玉堂 鳥居拜殿あり 尚社天神星比神

あり 奉世金輪社のいも連秘事きり

あり 是より一丁御寺にて奉宮の境より入る

あり 善妙寺あり乃堂

△四本龍寺 宝形あり奉宮ハ千手観音

五夫多佛道とあり尚と尚山岡の上より上人住居

あり

○三重塔 奉宮 秋也 文殊 普賢

○御本社 奉宮 秘教あり 奉宮大権現

本寺住持の教述 文殊普賢真心の所傳し

善美眼大師の所製あり 大猷院様殉死乃

諸士位牌あり堂の外に殉死の石碑と之の是堂あり

常住不空の念佛と彼を堂にうつらふ

○愛宕山大権現 寺形まじりてしりて所傳あり

○八幡社 尚阿の所守あり善小○六比蓮堂は堂の

うしろとあり宗光寺のあり神格あり宗光寺三平

所余ありま及入口の所傳あり○延命地蔵堂とれり七八町

りて○此石は石のよふ不形ありてとあるなり

又俗に云むしりびつとて宗光寺のあり馬法

歸の跡ありとをたれか六丁程あり宗光の地入り

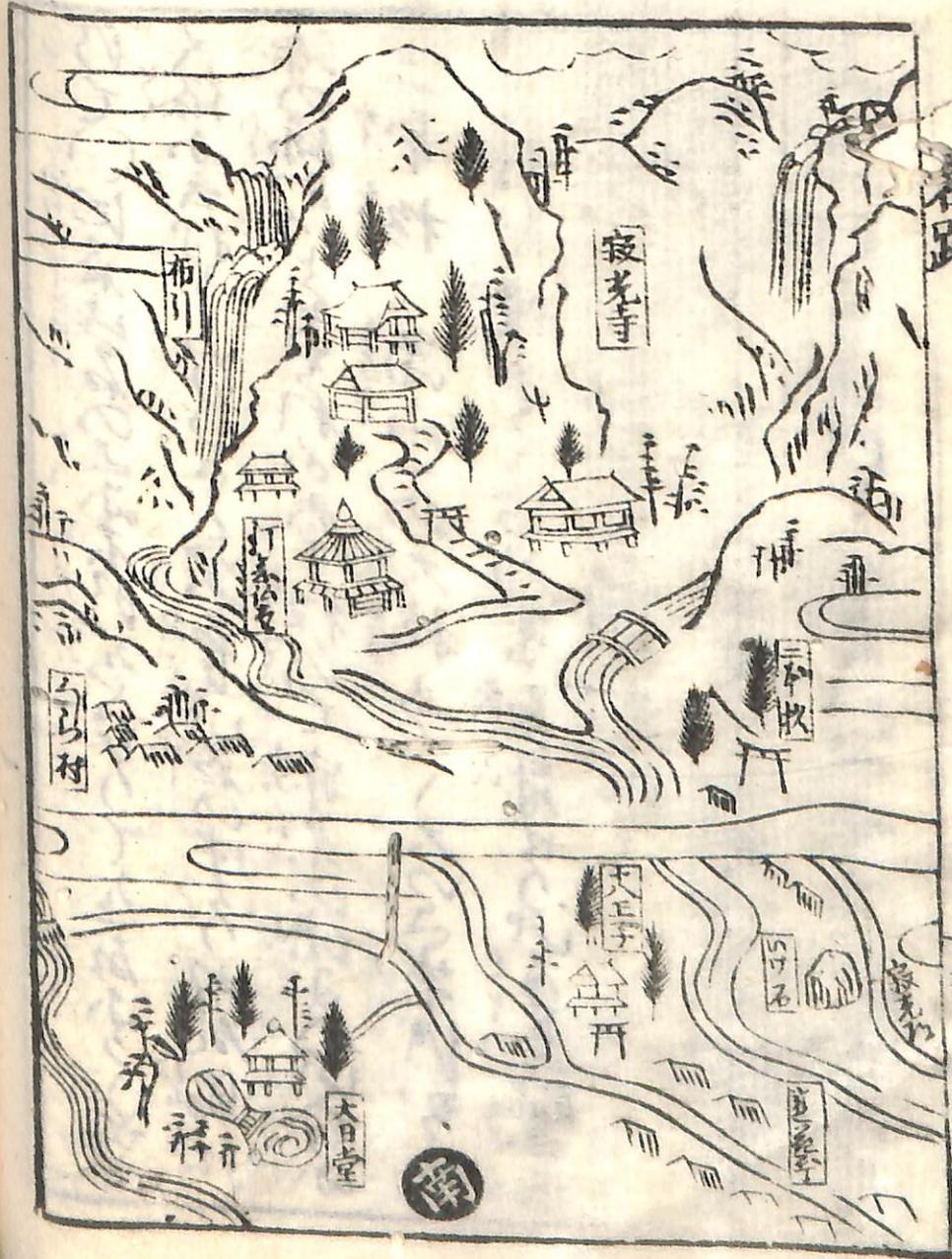
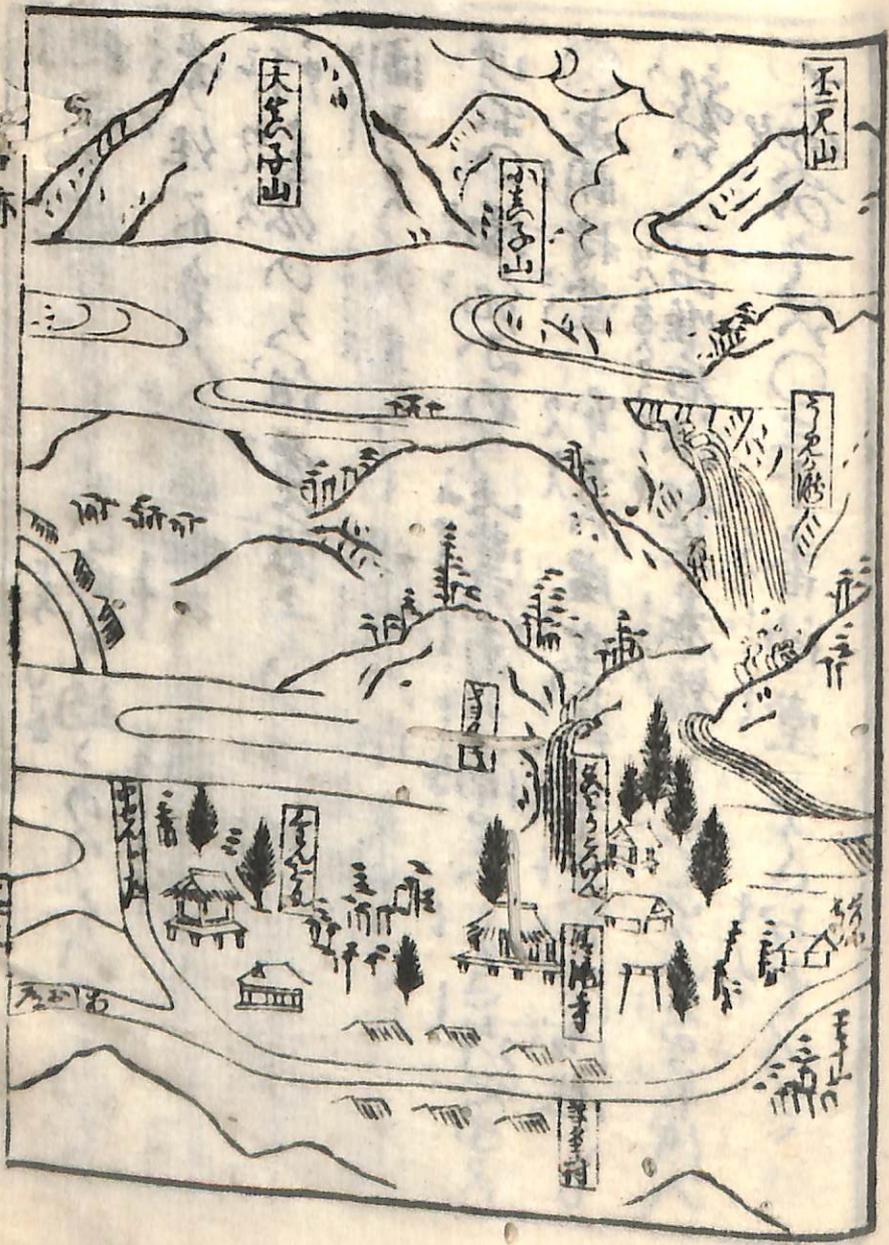
三本杉 尚山一の大杖あり大いし半江あり

一乃と接するなり乃木お對せりいよおの茶店

ありとてしり六七丁ありたれり

○常念佛堂 本寺の所傳三善善心乃所傳あり

ありとてしり六七丁ありたれり 釘念佛乃



此堂の納むるも又いふは納りありとんるもて
 常任不怠の念仏相ありとて此堂はうらた
 行善仏の入祖曼源上人の法教ありとて上人
 圖玉より法身せし清取乃印文せりくりくは
 此所の極紀ありとて堂乃南に満里はるる法教あり
 ○求圓持堂 中書ハ虚空藏并慈覺の法地し
 彩 一品准后法親王表鏡しててとる者居法入
 て受のるる○三十番神堂 ともかせりく

○不動堂并 ○三笠赤倉の表社あり又堂と○秘級
 ○御本社 宗光大権現ハ下照那命也并御天
 多の為社ハ弘仁十一度子年弘法大師御所基し
 法堂揚ハ十二の年表白身乃鏡也の表敷あり
 たれとては激ありとの源とるる不遠く相成
 ありとてとるるをとるる料守の布と晒とあり
 滝乃南小出とるる山乃とて巖峯のたのむるふ
 死氣災起ハ伊字と空海とて表印ハ世の

上ふ○三子山○大馬山奥ふ令○富士のふあり
 じふりの富士八高根とてやうやうに○川俣
 温泉あり常しく女人の入湯なり 柳本村あり
 下りて○別所あり寺あり辨財天十九童子河
 安堂とて寺の長乃ふ○羽黒滝とて入湯あり
 ありてあり河川あり本町大工所とて入湯あり
 △往生院 山一山の墓あり権門の歌六法天際
 八等冷 妙見門とあり八寺の宝物あり回あり

○阿弥陀堂 奉き三子乃 弥陀表目の地あり
 あり大谷川の橋とてまをむ河原とて小町あり
 △慈雲寺 神橋あり乃法十三町ありあり
 奉き八慈覺天際し涅槃の釈迦あり寺のあり
 大谷川なりこれより行く岩乃上
 △護国堂 じふ合満が淵あり向小地雲のうへに
 不動地名佛淵と懸てありじ雲の淵乃岩あり
 あり懸踏の梵字ありこれより行くた地あり

○不躰八地蔵其教法云く凡そ此の川端に

○灵庇閣 此閣あり此の絶景なり

○丹波の香燭 此乃香城の神料坐す

○赤柳 此の

○骨堂 大なる堂と切ぬる

○骨堂 大なる堂と切ぬる

○骨堂 大なる堂と切ぬる

○骨堂 大なる堂と切ぬる

石仏の大地蔵あり 座像を奉り 此後大なる堂あり

慈母寺の門と入るあり 此寺を二所傳と皆いふ

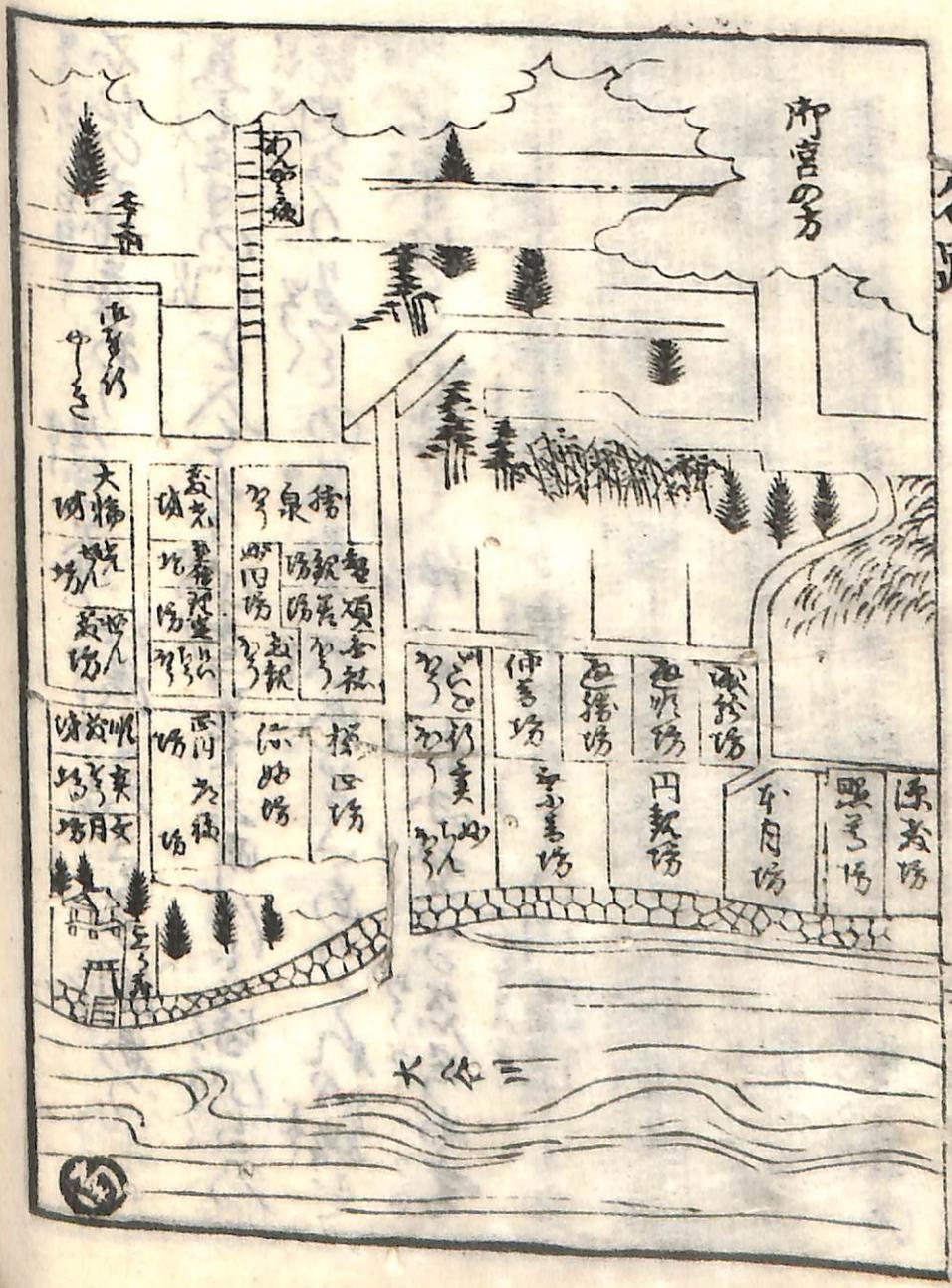
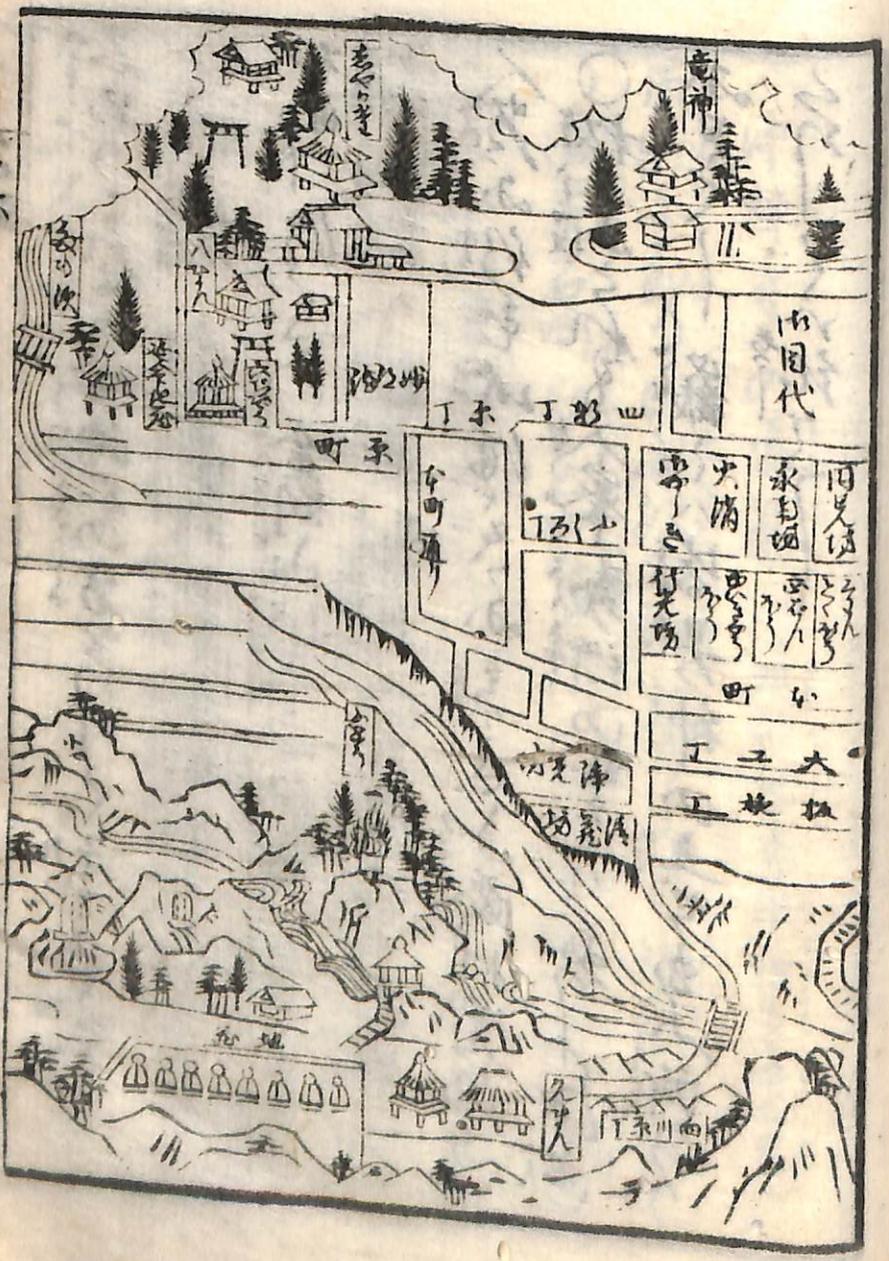
境内あり 此の寺あり 此の寺あり

此寺あり 此の寺あり 此の寺あり

此寺あり 此の寺あり 此の寺あり

此寺あり 此の寺あり 此の寺あり

○素新滝あり 此の寺あり 此の寺あり



石ありえんうりゆ縁衣のきざりくもまゝいふ

△三の文山 本地薬師如來金剛童子乃堂あり

おのりけりさ○金剛山いよふ化粧の宿を入魂

ふ伏の宿あり秘窓鞠の乃備ありい所く

人たふびとほほくふまささ山敷れ見ゆふ

○松立山うれも入峯動汗の宿ありあけいよ

ふ見くく嶽くいはる男神の立せあふ所あり

くりくい記ぐ

△中禪寺への道筋

但神橋より中禪寺と三里

原所ふびり田母伏の橋とらうて川

○蓮花石所 坂とせんと○安徳堂あり所の中

後ふ○蓮花石ありいそむむう橋道中禪寺へ

ありせのふ時やとひ路やとと里のるがゆへ

はれとく蓮花石といふたのめ本立のうら

△十八王子 是び所の落字し是より三町余の

ふ久二良村と云ふありい村の社家元居候の世

久々見たり 此の堂
本名茶陣二茶 希土神十五

本名茶陣二茶 希土神十五
神の御あり又まじりや所より

二町余ありたる所の大日堂
此の御所の

大日し千躰佛と安齋に回る御堂あり

此の比形龜の伏ぐあり 乾不降と向ふ氷清

等傳ありてお茶出乃如き偶に所なき

妙なる御も香江若くありて海堂の

かくて堂一の御し又大日堂の別進乃あり

おのゝえ乃法二十町所々

△裏見が瀧 又湯取とありも此の

このうらえが瀧の巖より出く若くしるる

巖くするいりてひのさと下まじりの下

この岩の下と色もこれに比瀧とくく入る

しよりめとあり上お荒沃不動唯主と

此日なれ若くは瀧多しとても裏より

此の御の御にあり

乃ありとわたり五里ほどあり是尾と通の上列も
作ありとて親なる堂より木のこころ三丁ほどあり
○水沃村をいふは道にあり石社ありとて○牛王
坂といふはとてきりきり

△馬込村 ありとて入るも田ありとて
女人もとてあり禁ありとて是もて目越あり二里
あり河原とあり○深沢茶屋あり坂はよ如儀堂
ありとていふありとて○大平

○不動堂 石群しる道よりとては是の平

○大尾といふは○神子石といふありとておび

○朱石ありとて○是はとてありとて

○朽御門 此下ありとてありとて

駕より下り赤笠とてありとて

△中禅寺別所 補陀落山中禅寺是なりとて

はく是所の若若離とてありとて

氏子比之也其をいふありて半し本社安否に
男體山(中)なる乃ありはあふ○碑あり往古弘法
補陀落(穴)記とありの中古紙紙にありて何
准之后公辨親王は亦ありしと

男體山 又黒葉中にもいふ山昔妻比も亦に言秋多

中(中)を乃(乃)換(換)く積(積)雪(雪)長(長)あ(あ)りて(りて)雪(雪)風(風)人(人)
乃(乃)肌(肌)と(と)徹(徹)家(家)山(山)頂(頂)ふ(ふ)○三(三)社(社)権(権)現(現)立(立)世(世)法(法)又(又)半(半)日(日)
所(所)は(は)毎(毎)年(年)七(七)月(月)七(七)日(日)節(節)祭(祭)に(に)也(也)る(る)は(は)附(附)七(七)月(月)節(節)日(日)

○星中禪寺別所(星中禪寺別所)祭(祭)り(り)一(一)七(七)日(日)が(が)召(召)替(替)く(く)の(の)所(所)
作(作)物(物)の(の)者(者)を(を)一(一)三(三)社(社)と(と)稱(稱)し(し)て(て)そ(そ)の(の)信(信)心(心)

至(至)る(る)人(人)の(の)奇(奇)也(也)の(の)男(男)體(體)山(山)乃(乃)三(三)社(社)也(也)

紀(紀)一(一)の(の)一(一)に(に)男(男)體(體)山(山)乃(乃)三(三)社(社)也(也)

戒壇堂 本堂 釈迦 文殊 普賢

○根本社 ○六伽羅天 ○山王社

○三重塔 本堂五智如来 ○採地護摩所

○根本社 ○六伽羅天 ○山王社

湖水乃びじふとほるふとてな

○歌乃濱 ありては神軍に討つる

はるは凱陳ありて徳率の神速行きて

いさひおのゆふのくはるはありて

吉祥天并ふ弥勒菩薩金剛童子ありて

乃入海山伏の宿ありて毎年三月十三日

四月廿二日に出来たりとて先供の奉り

まゝとありて難所し海山の巻くふと

○寺々 浄土 兼師堂 ○日輪寺 大寺

掛乃北法新あり ○上野池 湖中乃居し一丁

い方何とありて務乃の法皆は徳小細あり

○梵字石 ○龍燈石 ○猿石

○千手が瀆 観音堂并に法供所あり 奉る

千手観音務乃乃法地し ○毎年六月朔日

七月まで乃俗一七日乃行はく演祥頂し

知ふ系居く乃号歌を稀とて字信公堂の

新精なる此何ハ此れ別ニ一庭ノ地ヲ
 其ノ年乃判ニ其ノ地ニシ後ニ乃其ノ
 ありぬりて此ノ地ニ右此ノ地ニ
 ○風風水 ○紅葉の浦 ○初月の滝 ○火神
 ○大尾 ○宇津の滝 ○言瀧の滝 ○獅子の淵
 ○金ヶまゝ ○此ノ地ニ多ク ○湯元ノ別所
 其ノ地ニ多ク ○一里ノ地ニ ○葛藤ノ沼
 此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク ○赤石ノ地 ○我地ニ多ク

比原二里四方もあらず一尚此ノ地ニ古ノ
 といふも此ノ地ニ ○弓張橋 ○幕張の地
 此ノ地ニ鶴一壽ありて居此ノ地
 鶴ハ日光様現ノ神鳥也年毎ニ子辰の地
 も其ノ雛鶴いづらにくとまらぬ此ノ地
 此ノ地ニ此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク
 此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク
 此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク ○此ノ地ニ多ク

交へ時ありぬ妻ふまふゆせり

つるもあはれ山室のさくら花のあけぬをば

と後房のうゑるをわたりしぬるをば

○湯滝とよと重る令くあつひよ近づく湯乃

例と通る○湯元行湯吉家八軒あり

之月中旬より九月乃湯をて高店などあり

樹より自由なり湯れたひ

○御所湯 〇滝湯 〇姥湯

○毎湯 〇自在湯 〇中湯 〇紫野湯

○河原湯 〇上湯乃品八色 湯坪十一町里

右乃湯乃も積と黄疽の急なり自余の病

何にとも事ぬなり湯師みとく高瀬

し湯師の筆本毎群集せり

世色山 〇大真子 〇小真子 〇鉾山

〇帝釈山 〇大王山 〇雪山 〇前二荒山

〇三笠山 〇赤倉山 〇鈴ヶ嶽 〇温泉山

○女峰山 ○太師嶽 ○月山 ○白根山

○湯殿山 男爵山乃山の麓にあり 出羽の國

湯殿山と連なりし 夏湯及行ふこと勤て

此山系とし 裏見の谷の乃嶽と名なり けし

○華嚴滝 是は中禪寺御座大凡神子石の取

り 五六丁行し けし 湖水の流なり 奇く 數百

尋の布と曝す 初く 其のまゝ 半一 天流り

ぬと 銀漢より 酒ちりりと 心か 事なり 流る

銀河倒掛三石梁 香盧瀑布遙相望し 作

きともめり 中を母もり 道傍らり 大木とめり

滝橋と餘石も 月く ありて びつ 合ふ ありて

激の色い 奇樹 灵州の花 結ば 珠も 雲系し

げあり ○大平不動堂のり ありて し くれり

下向して 裏見え 湖へ ありて 水沢村のり あり

乃ありて 一里ほど ありて し くれり 大日堂のり

ありて あり

吾日光 吾如淨刹 行く 孫と也る 何くみ

四五日も 遠留せざれば 巡る 一〇

○日光名物

意惣公鳥 びひまと 鴨 鴨子

栗胤 ちんちん 小豆 小豆

岩茸 芥菜 推茸 自秘菓類 小独活

山椒皮 川海苔 索麩 あけび

胡鬼の子 藜三ツツとて 下は 煮わり 四つをこのこに 何なり

後小尾院御製 ばくもりの七事 ありあがりて ことこのこに 馬あ

草花の類 石南花 白根菜 鹿椒人參 黄連

子母老皮 岩の川 苔杖 石解 百合草

日光茶 日光生薑

細石類 膳 曲物 挽物 指物

諸方道法附 但日光神格あり

御宮 七丁 滝尾 十六半 清池 一里

御冥庭 土丁 寂光 一里 重長 一里半

新宮 十丁 會満 十三丁 中禅寺 三重

○青海庵、一里半 神橋のふもとに河原とよまう坊し

○かけはし 北庭、主下余 されい小倉山のひりし 菊し

○湯殿山、三重 ○中禪寺湯元、重 ○川俣湯元、八重

○足尾、六重 足尾とぬり上列 妙徳伊香保橋をへ

ゆくし日光より妙義のふとそ二十七里余

○今市、二重 此所段木のふと森乃内柳 木伐湯蒸気あり 日光湯用のふと湯代友成のふとありし

△今市より五里 ○宇都文、七里 ○麻沼、五重

△大田原、十里半 高家平、八里 板橋分、三

△宇都文通、今市所合ひし

日光、今市、二重

今市、大沢、二重

大沢、上徳良、二重

中徳寺、新

下徳寺、二重

此所出たのふと大れさうり 大谷寺親善ふとありし 徳沼より一里半あり

△麻沼通、今市所と南へ

今市、板橋、三

今市所とのふと橋あり

ありたのふと大谷寺へ

板橋分、麻沼、二

二宿の石文鞍ふとあり

あり日光より此のふとあり

ふとあり日光へ

いふ鞍にふとあり

大谷入りくらの三三三三

上座下小字新三三三

宇都宮 蓮花寺 下

大田東 十里半あり

・ほくを 十一里あり

・かーと 一十里あり

蓮のふ 石橋 一里半

石橋 小金井 一里半

小金井 新田 北九丁

新田 小山 一里半

●日光 小山 二十六里

赤沼入り 十丁 余り

大門宿より 村あり 海分

おのこ 小出流 山のたあり

日光 小出流 十三里

赤沼 赤沼 二里

赤沼 赤沼 二里

赤沼 日光 出る 赤沼

赤沼 日光 出る 赤沼

赤沼 日光 出る 赤沼

赤沼 日光 出る 赤沼

奥羽海道 大田東より

今市 大渡 一里

い乃大谷川 橋あり

大渡 舟生 一里半

い乃蒲川 あり

舟生 玉生 一里半

舟生 志原 一里

志原 矢板 一里

赤沼 壬生 一里半

壬生 飯塚 一里半

飯塚 小山 一里半

●日光 小山 十四里

△会津海道 五十里

今市 大栗 一里半

い乃大谷川 あり

大栗 志原 一里半

一奥列海道 大塚より

今市の大渡へ行

い乃大谷川橋あり

大渡の舟生一半

い乃蒲川あり

永集玉生一半

玉生の舟生一半

高尾の矢板一半

素板舟玉生一半

玉生の飯塚一半

飯塚の小玉一半

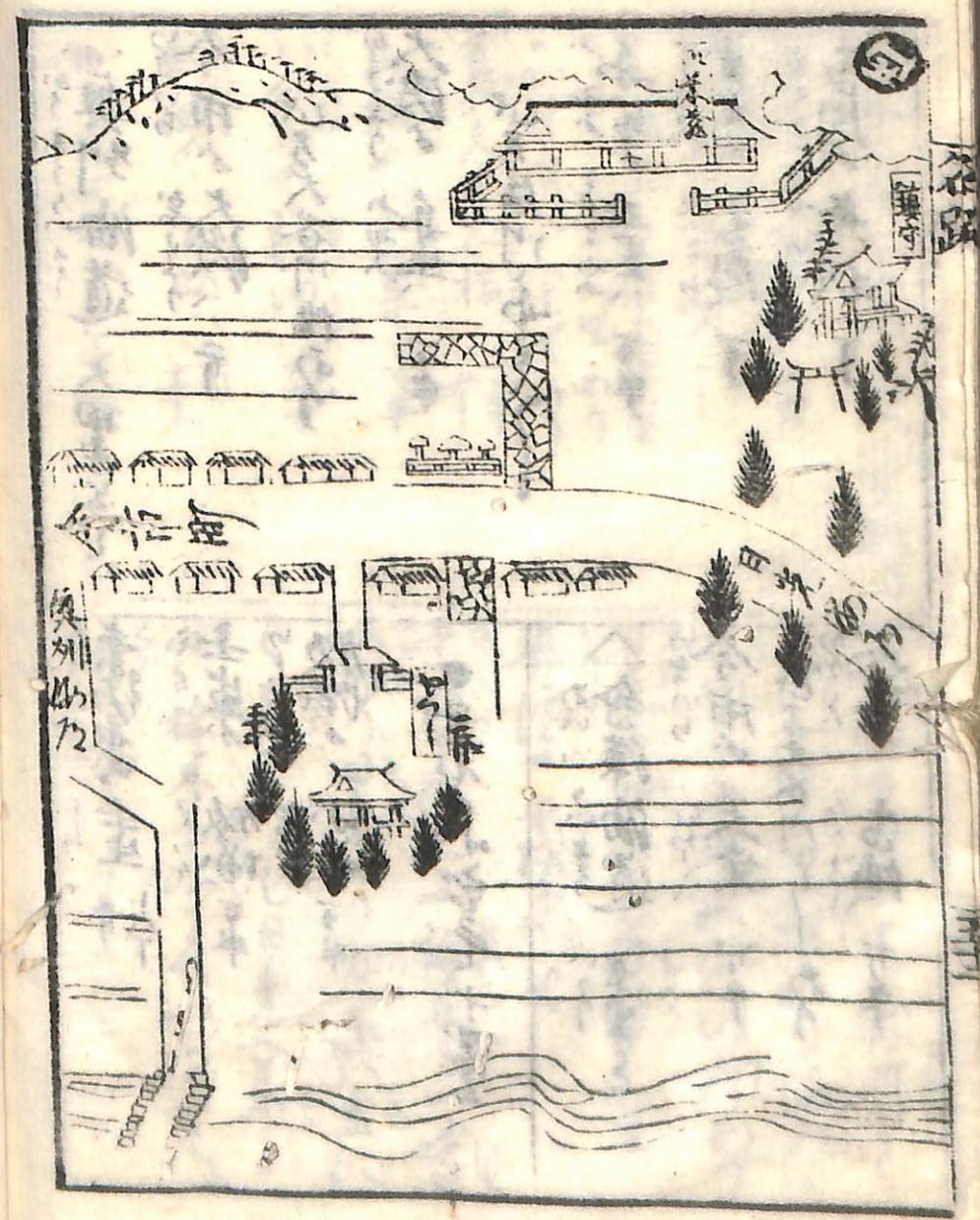
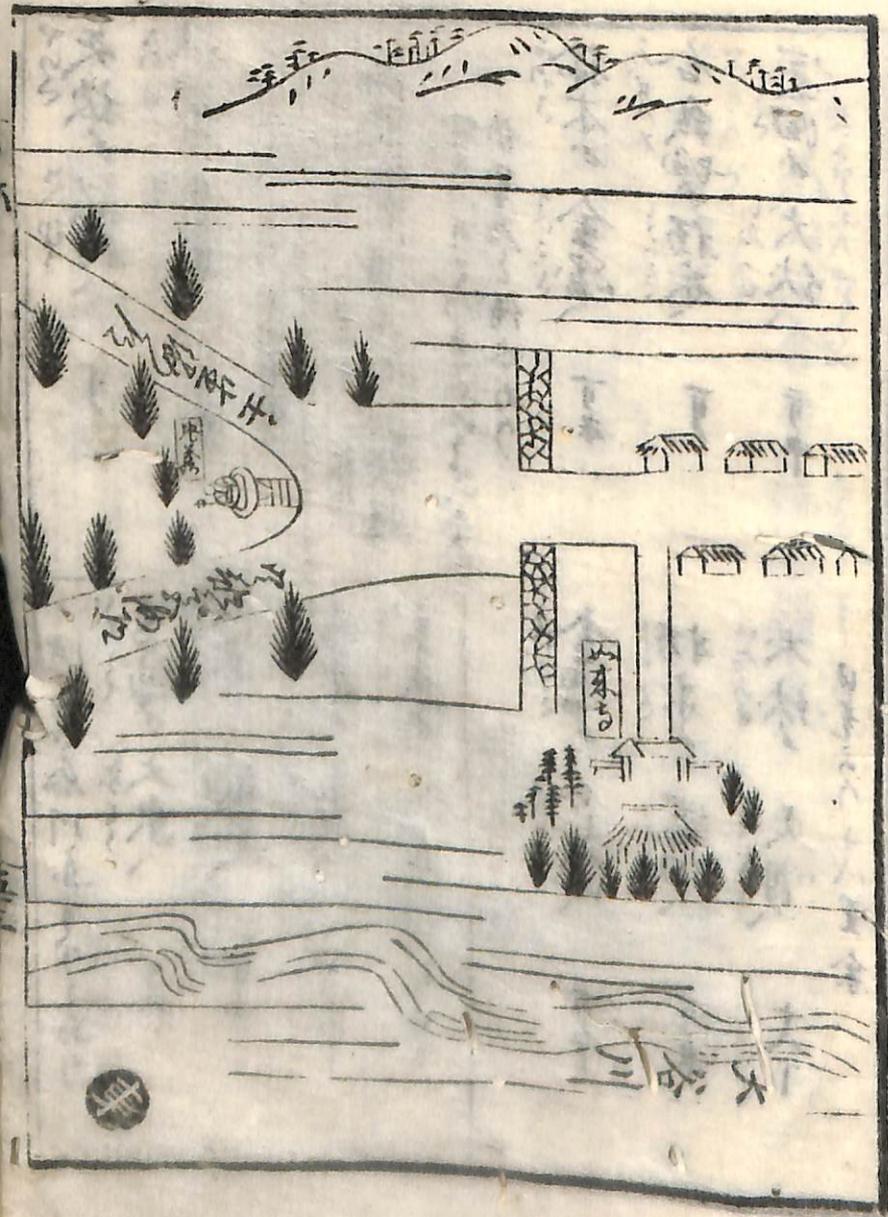
●日光の小玉を十貫

△會津海道 五貫と

今市の大栗一半

い乃大谷川あり

大栗の高尾一半



矢板 漢村 可

漢村 大田原 可半

●日光より十三里半

△佐野海を昇上列の煩絡

橋本の所よりきねのこへ入る
傍聖名と橋本あり

橋本 金湯 可半

合戦場 橋本 可

漢田 大伏 可半

日光より川原まであり

大原 大原 可半

大原 大原 可半

大原 大原 可半

大原 大原 可半

金湯 合戦場 可半

橋本 富田 可半

大伏 天明 可半

日光より十八里余

△日光山坊舎并徒夜僧尼

一山学野

東照宮御別所

御霊屋御別所

新官御別所

慈眼堂御別所

○衆徒中二十坊并徒火名所宿坊附

戸伏上縁及唯公院 東山

佛学院僧正

大樂院

龍光院

安親院

五量院

井伊掃部院及南照院 東山

松平右京大夫 松平相模守及	松平薩摩守及	毛利周防守及	松平修理大夫及	酒井非木及	松平伊豆守及	牧野越中守及	土屋但馬守及	大田備中守及	美田豊後守及	松平加賀守及	松平少将守及	松平陸奥守及
安居院 東山	越城院 日	橋本院 日	若本院 日	警王院 日	忍系院 日	法門院 日	觀音院 山					
尾列棟	若堂本泉守及 黒田肥前守及	松平土佐守及 松平安房守及	紀列棟	松平秋江及 酒井左衛門守及	水戸棟	山藤後守及 松平文之守及	佐竹右京大夫 松平出羽守及					
日智院 東山	救城院 日	禪智院 日	獲光院 日	苑菴院 日	難源院 日	淨土院 中	宗教院 日					

松平右近將監
松平義隆及
光樹院
中山
石田山城守及
秋元傳實守及
照善院
南谷

○一坊八十字

●東山谷

永親坊	鏡象坊	本齋坊	長月坊	實務坊	救本坊	收善坊	妙金坊	光榮坊	志後坊	日輝坊	佛秀坊	祐甫坊	乃福坊
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

●佛岩谷

西任坊 秋源坊

正定坊 妙力坊

童秀坊 常親坊

妙日坊 色業坊

●南谷

淨泉坊 奉月坊

殊以坊 通以坊

雲如坊

淨久坊

龍親坊

林叢坊

秀親坊

光秀坊

淺油坊

親如坊

久月坊

馬業坊

撤了坊

通清坊

●無住坊

醍醐坊

●西山谷

不執坊

極心坊

正源坊

唯源坊

仲善坊

昌光坊

智親坊

高親坊

慶住坊

什光坊

常善坊

增秋坊

彌善坊

深如坊

正能坊

永南坊

行實坊

妙珠坊

秀秋坊

秀福坊

親德坊

秀泉坊

●善女寺谷

社方

天林坊

實為坊

教老坊

正芝坊

光禪坊

文月坊

如香坊

松香坊

行舟坊

理宣坊

深菴坊

掃守坊

以教坊

蓮勝坊

金義坊

道龍坊

日光名跡誌 大序



享保十三戊申壬子如月元版

明和元甲申仲秋改版

御免板元

日光山石屋町

遠藤喜六



